

言問い(こととい)：50周年記念植樹イチイに命名されたものです。

令和6年度 西春別中学校 第7号

こととい

令和6年9月30日 発行

＜ 校 訓 ＞  
自 主 友 愛 有 能

＜ め ざ す 生 徒 像 ＞

- ・自ら学び考える生徒
- ・心と体を鍛える生徒
- ・協働する生徒
- ・郷土を愛する生徒

発行責任者 校長 綾野 正巳

## 弁論大会を終えて

西春別中学校長 綾野 正巳

9月20日、弁論大会(参観日)が行われました。普段とは違った緊張感の中、堂々と発表する姿、真剣に聞く生徒達を見て、西春別中は素晴らしい!とあらためて感じました。

「未来」「生き方」「個性」など様々なテーマを基に自分の考えをまとめた甲乙つけがたい発表でした。

小学校教員だった私にとって、4年前に初めて中学校の「弁論大会」を聞いた時、「すごい!」と感動しました。なぜなら、生徒達は、自分と向き合い、自分の言葉で堂々と発表し、

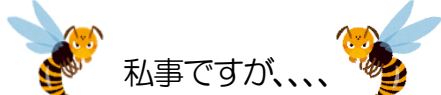


小学校から培ってきた「学び」がこのように中学校で生かされているのだと実感できたからです。(来年は西春別小高学年にも聞いてほしい!と考えています)

左上の図は、学習指導要領で示されている「育成すべき資質・能力の三つの柱」です。これを実現させる一つの手立てとして、「弁論大会」はとても大きな意義のある学習場面です。

今回、生徒達の弁論を聞いていると「見方・考え方」を変えてプラス思考をしていく視点が多くみられました。4月に生徒達に伝えた「ピンチかチャンスかは考え方次第です!」など、私も全校集会では「発想の転換」についてよく話をしていたので、とてもうれしく感じました。

見方・考え方の転換はどのように生まれてくるのでしょうか?それは、各教科で学んだ「知識・見方・考え方」がその糸口とならなければなりません。**なぜ勉強をしなければならないのか?**中学生であれば誰でも考えることだと思います。弁論大会では「幸せになるために生きていく」という発表もありましたが、そのためには、正しい判断力が必要となります。正しい判断力を身に付けるためには、多くの情報(正しい知識)をもとに多様な見方・考え方ができる力が必要となります。そうした力を身に付けるためには、やはり勉強が大切なのです。



私事ですが、...

先週、草刈りをしている時に、学校の駐車場でスズメバチに刺されてしまいました。ものすごい激痛が半日、右手薬指の先端だったのですが、3日後には、手の甲までふくれあがりました。今までスズメバチには刺されたことがなかったので「なんて運が悪いんだ!」と思いました。しかし、私が刺されず、巣が発見されずに巨大化し、生徒が刺されて重傷化していたら!他の先生が刺されて授業ができなくなったら!と考えると、私が刺されて巣を発見できたことは、校長としては「運が良かった!」と考えることにしました。

～参観日の際は、駐車場所の急な変更にご協力いただきありがとうございました。～